



大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより⑨

令和6年(2024)12月23日

校長 川上 貴由

★ 研究発表会の実施 ★

本校は、昨年度より京都市教育委員会の研究校に指定されています。MLA(包括的生徒指導)という取組を実践しており、“幸せの花束カード”や“SELの授業”“成長



への架け橋～大淀十二階～”もこれらの取組に含まれます。今年度は、MLAの1つである“協同学習”についての授業公開を行うとともに、京都大学大学院教育学研究科と連携し

てパフォーマンス課題という授業実践について主に社会科と数学科で行っており、これについても授業公開を行いました。その後、明親小学校の体育館をお借りして実践発表を行いました。昨年度同様に、100名を超える学校関係者に参加して頂き多くの意見を頂戴いたしました。本校は学習確認プログラムの結果が向上するなど、学習状況が改善傾向にあります。本校の教育目的“大淀中学校で過ごす時間は、社会人になるための準備期間”がさらに充実して、社会の変化に対応しながら新たな未来を創造できる人材の育成を目指していきます。



★★第64回 合同運動会★★



11月22日、島津アリーナで1組の合同運動会が行われました。京都市の育成学級の生徒たちが集い、様々な種目で競技するものです。今年の競技種目は100m走と玉入れ

れでした。100m走では、みんな精一杯走り、玉入れでは、練習したことが発揮され135個で優勝しました。おめでとうございます。

ヒューマンタイム(人権学習講演会)

12月は人権月間です。本校では、他者を思いやる気持

ちを育むには、自分を知ることが大切であり、そのことが人権感覚の向上につながると考えています。6日(金)に



は、大淀地域生徒指導連絡協議会主催の「ヒューマンタイム講演会」が、全校生徒・地域の方々を対象に行われました。今年度は、体育館が工事中のため地域の方々が参加する会議室、生徒が参加する教室をつなぐハイブリット形式で行いました。

昨年度につづき、心理カウンセラーの矢部裕貴さんをお迎えし、「もっともっと学校を楽しむヒント」をテーマに講演をして頂き、人生をおもしろがって生きるコツとして“自分の人生は、自分が主人公。自分が設定したことが自分にふりかかる。自分のしたことが後で人からされることを考えると、相手がしてほしいことを先に出来るといいですね”と振り返りを行いました。

【2年2組 生徒感想】

矢部さんの話を聞いて、たくさん学んだことがあつたけど、1番印象が強かったのが、なりたい自分になるためには、その世界にふさわしい自分に成長することです。イメージ通りになりたいなら苦手なことを克服しないといけないし、一人で頑張りすぎるのではなく、誰かに頼り、助けてもらうことも大事なんだなと思いました。逆に困っている人がいたら、自分の得意なことを発揮し、才能を活かしたいなと思いました。そうすると自分も成長するし、相手も成長するということを学びました。自分は、自分がしたほうが早いから何でも自分でしてしまって疲れてしまうことが多いから、人に頼り、助け合うということも大事だということも勉強になりました。

【2年4組 生徒感想】 *一部改

初めのクイズ?みたいなものをやってみて思ったけど、マイナスな言葉ばかり見つけてしまって、今こんなに思い詰められているのだ、苦しいのだと改めて認識できたと思います。だから、詰め込みすぎではなく、思い切って遊びまくるのもいいのかなと思いました。「期待されていると思って緊張する」という質問がありましたが、私も周りに見られていることが、誰かに期待されていると思って焦ってしまいます。だから、逆に何も背負っていない、誰にも期待されてい

ない、いつも通りやるだけと考えると、さらに楽になれるのでは?と思いました。

大淀地生連 令和6年度標語作品

大淀地域生徒指導連絡協議会主催の「地域啓発活動標語集」が行われ2作品が選出されました。大淀地生連の皆さん、投票の御協力ありがとうございました。これらの作品は、町内の掲示板にも掲載されています。

ありがとう みんなでつなげる 地域の輪
(2年2組 O.Hさん)
気づいてる?今の言葉が 傷つける
(3年3組 T.Mさん)

姉妹都市交歓作品・税についての作文

京都市教育委員会が主催する「京都市幼児・児童・生徒作品展」で、本校の生徒作品が姉妹都市交歓作品として選出されました。

(書写)
1年2組 O.Yさん *中国の西安に展示されています。
3年5組 M.Nさん *ドイツのケルンに展示されています。
また、全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催する「税についての作文コンテスト」において、本校の生徒作文が優秀賞に選出され表彰式に参加しました。
3年2組 A.Hさん 優秀賞

■□■学校運営協議会■□■



紙面の都合上、掲載が遅くなりましたが10月19日(土)に、2回目の学校運営協議会を実施しました。理事の方々にお集まりいただき、学校評価の結果

についてご意見をいただきました。多くの設問で前年度より向上していることについて、教職員の創意工夫を評価して頂きました。しかし、全国学力学習状況調査において「文章の読解力や作文・発表等の表現力が増してきた」の設問で、昨年度より下回っていることから朝読書の再取組を行った方がいいのではないか?との指摘を頂きました。これについては、働き方改革の視点から部活動の下校時間が早くなうことにより、部活動の活動時間の確保が難しい実態がありますので、今後の検討課題とさせて頂きました。他にも、体育大会でのマスク着用率が高く暑さ対策への懸念、吹奏楽部のオータムコンサートにて高齢の方でも馴染みのある曲にして欲しいとの意見を頂きました。これらについても、来年度以降の検討課題とさ

せて頂きます。

マスコットキャラクターの決定



創立50周年記念式典に向けて、全校生徒を対象にマスコットキャラクターの募集を行いました。提出された作品について生徒投票を行った結果、こちらの作品に決定し「フィボナッчи」と命名されました。この作品を業者に依頼して、様々な場面で活用できるようにデータ化していきます。なお、創立50周年の記念品としてクリアファイルに加工し全校生徒に配布します。

体育館工事の現状 #

体育館工事は順調に進んでおり、2月末に完成予定です。3月3日以降に、学校外の倉庫に保管している物品の搬入作業を行い、3月10日に創立50周年記念式典を迎えることとなります。

現在、内装面ではフロア一部が完成し、これからライン引きが行われていきます。外装面では、出入口の階段部分の取り付けが行われています。



PTA家庭教育講座 特別講座

ヒューマンタイムで講師をして頂いた矢部裕貴さんに引き続きお願いし、6日(金)の18時より、“子どもの気持ちと向き合う~その子にあったオリジナルの未来を見つけよう”をテーマに家庭教育講座を開催しました。20名を超える保護者の方々が参加され有意義な学びの時間となりました。講座の最後には、矢部さんの著書である「学校に行けない子どもの気持ちと向き合う本(KADOKAWA)」の販売が行われました。

